

大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要

計画期間：2015年度(平成27年度)～2019年度(平成31年度)

人口ビジョン

(単位:千人)	2015	2020	2030	2060
推計人口	342	339	323	237
将来展望人口	342	341	331	280



目的

大津市まち・ひと・しごと創生総合戦略(大津市総合戦略)は、大津市人口ビジョンで示した将来のまちの姿と人口目標の達成に向け、今後5年間で達成すべき目標を定めるとともに、その実現に向けた方向性と具体的な施策を示し、進捗・達成状況の評価を行うことを目的とします。

総合戦略

基本目標1 子育て世代が満足するまちづくり

テーマ 子育て支援・女性活躍の推進
「ひとの創生」

教育やいじめ対策を含めた子どもの健やかな育ちを大切にす施策と子育て世帯を支援する施策の積み上げを背景に、更なる子育て施策の推進を掲げ、結婚、出産、子育ての幸せを叶え、県内外からの若い世代の転入を促すまちづくりを進めます。

■数値目標：合計特殊出生率
1.48(平成25年)⇒1.58(平成31年)

施策

1. 子どもを大切にする更なる子育て施策の推進

子育てにかかる経済的負担の軽減、安心して子育てに励める環境づくり、学校教育の充実、地域ぐるみの子育て支援 など

KPI 合計特殊出生率が現状(1.48)で推移した場合の出生数(推計値)と実出生数との差の累計 0人(平成26年度)⇒1,100人(平成31年度)

2. 女性の就業継続とキャリアアップ

女性の就業支援、起業支援 など

KPI 女性の有業率(30歳～34歳) 68.9%(平成24年度)⇒75%(平成31年度)
女性の有業率(35歳～39歳) 61.6%(平成24年度)⇒70%(平成31年度)

3. “働き方を変える”ワーク・ライフ・バランスの推進

仕事と家庭の両立支援 KPI くるみん認定企業数 7社(平成26年度)⇒32社(平成31年度)

4. 結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」

乳児期から成長期までの一貫した子どもの支援 など

KPI 合計特殊出生率 1.48(平成25年)⇒1.58(平成31年)

5. 地域等による支えあい

多世代(三世代)協力型の地域形成、コミュニティ・スクールの推進など

KPI コミュニティ・スクール実施率 0%(平成26年度)⇒50%(平成31年度)

基本目標2 仕事と暮らしが充実したまちづくり

テーマ 近隣と市内就業“快適家族”
「しごとの創生」

通勤の便利さや豊かな自然と住民同士の心が通い合う風土の魅力を高めるとともに、安全な地域整備や子育て支援、健康、医療、教育、福祉などの環境の強化により、近隣都市で働く人の移住を促進し、転入者の獲得をめざします。

また、地域産業の活性化と雇用創出により、市内就業支援策を展開し、働く世代とその家族が居を構えることに大きな魅力を感じるまちづくりを進めます。

■数値目標：付加価値額の増加 381,863百万円(平成24年)⇒400,000百万円(平成32年)

施策

1. 働く家族の満足を請け負う取り組み

京阪神や県内からの転居を促進するための情報PR、空き町家等の利活用など

KPI 30～39歳の市外からの転入者数(純移動数) +74人(平成26年度)⇒+97人(平成31年度)

2. 地域特性を生かした新産業創出と地域イノベーションの推進

地域産業の活性化、新産業の創出、農商工連携による特産品開発 など

KPI 市内事業所の付加価値額 381,863百万円(平成24年)⇒400,000百万円(平成32年)

3. 就業の拡大

若者の就職支援、企業の市内拠点化、高齢者就業支援 など

KPI 新規就業者数(企業立地助成分) 53人(平成26年度)⇒75人(平成31年度)

基本目標3 あったか市民と活性のまちづくり

テーマ インバウンド魅力倍増
「まちの創生」

本市の持つ資源や強みを最大限に活かし、多言語に対応した環境整備、海外への情報発信などの取り組みで、インバウンドに強いまちをめざします。

また、おもてなしの心で親交を深められる市民性を大切にす取り組みを進めます。

■数値目標：観光入込客数 1,200万人(平成26年)⇒1,400万人(平成31年)

施策

1. 外国人観光施策

観光情報PR、外国人観光客受入れ環境整備、文化遺産の保全 など

KPI 延べ宿泊者数(外国人のみ) 104,210人(平成26年度)⇒110,000人(平成31年度)

2. 観光産業の振興

食や特産品の開発 新たな観光就業の育成 など

KPI 観光消費額 84,000百万円(平成17年)⇒111,200百万円(平成31年)

3. おもてなしのあったか市民

来訪者をもてなす気質のパワーアップ、市民ぐるみのおもてなし など

KPI 観光ボランティアの登録者数 86人(平成26年度)⇒100人(平成31年度)

基本目標4 持続可能なまちづくり

テーマ 持続可能なまちの再構築

公共施設等のあるべき姿を見直し、持続可能なサービスの提供と将来世代に大きな負担を残さないことをめざし、既存ストックマネジメントも重視した持続可能なまちの整備を進めます。

また、市の大きな魅力の一つである自然を大切に守り育て、都市のオアシスとして、生活空間の魅力を高めて、時代感覚を研ぎ澄ませたまちづくりをめざします。

そして、コンパクト化による効率的効果的なまちの形成とともに、核となる地域と周辺部のネットワーク化で、中山間地域等も含めたまちの活性化に努めます。

■数値目標：DID地区の人口密度
6,980人/km²(平成22年度)
⇒7,050人/km²(平成31年度)

施策

1. 公共施設・インフラの適正維持

既存ストックのマネジメントの推進、公共施設等総合管理計画の策定など

KPI 公共施設(建物)の延床面積削減割合
- (平成24年度)
↓
△3%(平成31年度)

2. 持続可能なまちの再構築

「ひと」と「しごと」の好循環を支える基盤形成、都市としてのコンパクト化とそれぞれの周辺部をつなぐネットワーク形成など

KPI DID地区の人口密度
6,980人/km²(平成22年度)
↓
7,050人/km²(平成31年度)